

取組みのカテゴリ

転倒防止対策

腰痛防止対策

企業情報

所在地：東京都
従業員：140名

背景

女性が重量物を持ち上げたり運んだりすることに違和感を覚え、労働災害防止を含めてより良い職場に改善する活動を始めました。

より良い職場にするために、従業員全員にアンケートを行い、仕事の改善希望をヒアリングしたところ、重量物の扱いや業務負荷についての意見が多かったことから、腰痛防止対策を始めました。

取組内容

1. 【腰痛を防止するための作業改善】

- まずスライスした食肉を入れるコンテナに積む量を制限することで、1つあたりのコンテナの重量を軽減させました。
- 次に昇降台車を導入し、コンテナの積み下ろし作業の負担を軽減させました。



2. 【労働安全のための5S活動の実施】

- 床についた食肉の脂をきれいに清掃することを実施しました
- 昼休みに入る前の10分間を5Sタイムとして、全員で床を清掃しています
- 活動を始めた当初は、作業を優先する従業員が多く、全員参加になりませんでした。そこで5Sタイムを知らせるためのブザーを導入し、5Sタイムの間、音楽を流し、清掃に充てる時間であることを周知した結果、全員参加が加速度的に進み、スムーズに実施できるようになりました



安全の成果

- 腰痛になる社員・アルバイトはいなくなりました。また作業負担によるポジションチェンジを希望する従業員もいなくなりました。
- 5S活動を実施して約5年になりますが、転倒災害はゼロになりました。

副次的効果

- 作業環境が改善され、重量物の扱い方や業務負荷が軽減されたことにより、1～2年で離職する人はここ数年で激減しました。また女性も働きやすい環境になったことで女性の定着率も上がりました。

取材年月：2020年11月

* 上記取組みは、当該企業の労働安全の取組みの一部です。